

<事業名> 浜坂サンビーチ de ビーチサッカー交流 2021

団体名	山陰ビーチサッカーネットワーク
所在地	美方郡新温泉町
代表者名	松本洋二

事業内容	<p>今年度もコロナ禍の影響を受け、8月開催予定であった事業を延期することとなったが、参加対象地域を兵庫県内と鳥取県東部地域に限定のうえ規模を縮小して、10月9日、10日に、地球環境スポーツ「ビーチサッカーFESTA2021 IN 山陰海岸 shin-onsen」を実施した。実施にあたっては、兵庫県新型コロナ追跡システムを活用し、参加者には登録を推奨するとともに、感染対策として、事前申し込み必要とする「ビーチサッカー大会」及び「ビーチサッカー体験会」は、参加者の2週間前からの事前検温を義務付け、当日も検温確認と検温者済み者は、リストバンド着用のもと開催した。そのことにより、イベント実施に関して、参加者はもちろんのこと、地域住民への安心感につながった。また、多くの制限や制約がある中でも、山陰海岸ジオパーク啓発イベント等で繋がりのある鳥取の(一社)すなばスポーツのほか、今年度はB&G財団との協力事業として、ビーチO×クイズやスリッパ飛ばしなど、感染対策を徹底しながら、イベント当日に参加できるプログラムも実施した。また、ビーチクリーン活動について、緊急事態宣言下や蔓延防止措置が発出されている間には、行う事ができなかったが、年間を通じて個人ごとに意識を高め、可能な範囲で浜坂県民サンビーチのクリーン作戦、自主的ビーチクリーン活動を積極的に実施するとともに、町内で開催される清掃活動やクリーン作戦への参加と協力への呼びかけを行った。浜坂県民サンビーチを交流体験の会場や環境啓発の意識を向上させる活動の拠点として、引き続きビーチサッカー大会等のビーチスポーツ活動、ビーチクリーン活動を通じて、各種団体、そして地域住民の協力のもと、但馬地域をはじめとする県内住民や鳥取県東部の若者がふれあい、交流する場の機会を今年も継続して提供した。</p>
地域	美方郡新温泉町
事業の効果	<p>1 団体（組織）内の効果 マスク着用、手指消毒の徹底など各自が日々のコロナ対策をしながら、事業を実施するために必要なことをメンバー間で情報共有し、社会情勢の許される範囲の中で、実践することにつながっている。まだまだ厳しい状況は続くと思われるが、対面での会議を極力減らし、オンラインやSNS等を積極的に活用し、新しい形でのイベント事業構築に向け、メンバー間の意思疎通の活性化を図りながら団体の連携協働体制の強化につなげている。</p> <p>2 地域への効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年連続してコロナ禍で厳しい状況ではあったが、本団体においては、「できることを、できる時期に、できる範囲で」というコンセプトのもと、延期、縮小、実践ということに拘り、中止することなくイベント実施を継続している。確かに、規模を縮小することで参加者収入や協賛収入が大きく減り実施することが厳しい状況となるが、支出削減のほか、さまざまな知恵を絞り、他団体と協働し事業を展開することで、新たな発想のイベントを行うことにつながっている。今回では、O×クイズやビーチサン飛ばしなど、当日参加して子どもからシニア層まで多世代で楽しめるイベントをビーチサッカーFESTAと同時に実施することができた。 ・10月の開催であったが、今年も比較的暖かい気候に恵まれ、事業を完遂することができた。2年連続して10月に開催したことで、8月開催時における「熱中症リスクを避ける」という利点を改めて学ぶこととなった。 ・本団体の目指す取り組みは、SDGs No.14「海の豊かさを守ろう」の開発目標に合致しており、スポーツとエコ（eco）の一体感づくり、ビーチスポーツイベントを通じた「浜坂県民サンビーチ」の環境保全意識を高める活動を広げていると実感している。 ・但馬地域、鳥取県東部住民との地域を超えた青少年のふれあい活動の推進を継続して行った。 ・浜坂県民サンビーチという地域の貴重な資源を再確認することができた。特に、裸足で行うピッチについて、皆でビーチクリーン活動を行うとともに、はだしでサッカーを行い、素足で砂をつかむ感触や不整地な砂の上で行う活動から足腰が強くなることの大事さを実感するなど多くの学びを得た。

事業経過	2021年4月25日	メール・SNS等事務連絡	事務打ち合わせ(2021 イベント実施協議)
	5月12日	但馬県民局より	令和3年度夢但馬応援事業助成金交付決定書受領
	5月20日	浜坂多目的会議室	事業運営会議
	6月1日	オンライン会議	COVID-19対策に基づく対策方針策定
	7月13日	浜坂多目的会議室	2021年度定期総会/役員会※規模を縮小して開催
	8月4日	メール、SNSでの連絡	ビーチサッカーFESTAについて、8月開催を断念し、10月9日、10日に延期して開催することを決定
	8月7日	但馬県民局宛	事業実施時期にかかる変更届提出
	8月17日	但馬県民局より	事業変更承認通知書受領
	8月~10月	オンラインでの連絡調整	事業内容協議、社会状況確認・精査継続
	9月16日	オンライン会議	事業内容決定、但馬及び鳥取県東部を参加対象として募集開始
	10月6日	浜坂多目的会議室	事業運営会議
	10月8日	浜坂県民サンビーチ	ビーチサッカーFESTA事前準備
	10月9日、10日	浜坂県民サンビーチ	ビーチサッカーFESTA 2021 IN 山陰海岸 shin-onsen 主催実施
			・ビーチサッカー大会…2日間 計9チーム選手等93人、スタッフのべ32人、観覧・引率者120人 計245人(検温実施者)
			・ビーチサッカー体験 2日間 のべ140人(検温実施者)
			・ビーチクリーン活動・・・参加者全員でビーチクリーン活動を実施。 《兵庫県及び鳥取県東部地域住民に限る事前登録者にて実施》
	12月16日	但馬県民局より	事業実施報告の注意事項文書受領
	2022年1月7日	但馬県民局宛	夢但馬応援事業進捗状況報告
	2月18日	オンラインでの連絡調整	2022年度事業について打ち合わせ
	2月28日	メール、SNS活用(連絡)	3/5開催岸田川クリーン作戦参加依頼、周知
			次年度事業予定連絡・ビーチクリーン活動協力
			2021年度事業経過報告他文書連絡
			三役会(本年度の活動報告)
	年間活動	サンビーチ周辺ビーチクリーンアップ	(自主的なビーチクリーン活動)
協働相手	(一社)すなばスポーツ, B&G 財団との協力		
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>1 団体(組織)の課題</p> <p>今年も引き続きコロナ禍での開催準備、延期実施判断、設営及び運営にかかる準備物の多さなど、慎重に対策を講じて計画していく必要があった。事前検温実施や会場内におけるアルコール消毒徹底、食事の制限等多くの対策を万全に行うため、打ち合わせや準備に多くの時間を要するなど大変厳しい状況ではあったが、他のイベント事業者と連携・協働し、事業を縮小して実施することにより、何とか継続することができた。事業終了後の参加者ヒアリングの中で、コロナ禍では、自然と触れることや若者同士で体を動かすイベントが少なく、今回参加し非常に楽しかったとの意見があった。当団体としても、若い世代を徐々にスタッフのメンバーとして迎え入れ運営することを実践中であるが、核となる人物、中心メンバーの発掘までは至っていない。しかし、15年間の継続したビーチサッカー大会開催により、運営関係全般、備品関係、行政との連絡調整等もスムーズに行うことができているため、引き続き、人材確保に努めていきたい。</p>		

2 地域の課題

今後の課題等

・但馬地域には、若者が主体となるイベントや事業が非常に少なく、地域を活性化し地元で定着する若者を増やすために、今後も継続して若者が主役となるイベントを開催し、但馬内外に広くPRすることが必要不可欠である。

・新温泉町をはじめとする但馬各地域においては、年々人口減少に拍車がかかり、特に40歳未満の若者人口が非常に少なく、地方創生、地域創生を含め、地域の若者の力を引き出していくことが必要である。

〈令和4年度以降の事業計画〉

若者が一堂に集う賑わいと憩いの貴重な場であり、「地域に根付いた魅力あふれるスポーツイベント」として定着している「ビーチサッカーFESTA」を継続して実施していく。また、参加前や参加後にオンラインで交流が行える仕組みを検討していきたい。そして、浜坂サンビーチという素晴らしい地域資源とともに、築いた人的財産、ネットワーク、また引き続き SNS(ソーシャルネットワークサービス)を上手に活用し、地域団体や各種グループと協働して、青少年健全育成、地域間交流を継続して行っていく。



令和3年10月9日 FESTA 体験会



令和3年10月10日 FESTA ビーチでO×クイズ



令和3年10月9日・10日 FESTA ビーチサッカー大会



令和3年10月10日 ビーチサンダル飛ばし